



下前地区

## 令和4年8月大雨による被災現場の議員視察

### もくじ—Contents—

#### 令和4年第3回定例会

補正予算・条例などの議案	…… 2~4	委員会だより	…… 10
議員による一般質問	…… 5~7	活動報告	…… 11
決算に関する特別委員会	…… 8~9	議会の動き	…… 12

# 大雨災害関連予算が多数 迅速な復旧と強靱化を！

## 9月 定例会

### 補正予算

(千円)

会計	補正額	補正後総額
一般会計補正予算 第3～8号	合計 7億3,106万6千円	91億1,359万4千円
国民健康保険特別会計 補正予算第2号	(事業勘定) 7,666万3千円	(事業勘定) 16億9,098万2千円
介護保険事業特別会計 補正予算第1号	5,210万7千円	18億5,863万6千円

### 主な補正予算

#### 住民税非課税世帯への 臨時特別給付金

対象となる世帯へ臨時特別給付金を給付する事業費

**5,065万6千円**

#### 子育て世帯への 臨時特別給付金

県事業により子育て世帯へ一律2万5千円を給付する事業。

**2,592万5千円**

#### 低所得の子育て世帯 への生活支援給付金

対象の子育て世帯へ生活支援給付金を給付する事業費

**606万1千円**

#### 大学生等生活 応援給付金

コロナ禍で物価高騰の影響を受ける学生へ1人5万円を支給する事業。

**1,100万円**

#### 武田・薄市小学校 エアコン設置工事

武田小学校と薄市小学校の職員室へエアコンを設置する事業費

**128万7千円**

#### 小説「津軽の像」 記念館レンガ塀 補強工事

小説「津軽の像」記念館のレンガブロック塀の耐震診断などの事業費

**380万6千円**

### 〈会期日程〉

- 9月2日  
開会・町長提案理由説明
- 9月3日～9月5日  
休会・議案熟考
- 9月6日  
一般質問
- 9月7日～9月8日  
決算特別委員会
- 9月9日  
単行案審議・閉会

令和4年第3回定例会が9月2日に開会しました。9月6日には一般質問が行われ、3人の議員が質問しました。9月7日と8日は、令和3年度の各会計の歳入歳出決算を、議員全員で構成する決算特別委員会で審議しました。9月9日には、議案の審議が行われ、報告7件、補正予算や条例改正などの議案16件の全てが原案のとおり可決、承認されました。



## 8月3日以降の大雨災害に関する主な予算

### 被災者生活再建支援金

住居が浸水するなどの家屋などが被害を受けた人への支援金。国、県の被災者生活再建支援制度の対象外となった被災世帯も含む。

**5,700万円**

### 農業災害対策支援金

中里川の決壊によって、農地や農作物、農機具、設備などが被害を受けた人へ原形復旧にかかる支援金。

**4,620万円**

### 被災店舗等機能回復支援事業

町民の生活に密接に関わる数少ない貴重な商店が被災したことから、店舗等が被害を受けた事業者へ必要な経費の一部を支援する支援金など。

**450万円**

### 災害復旧に伴う測量・設計などの経費

農業用施設や林道、道路、橋梁、河川などの災害復旧に伴う測量・設計などにかかる経費。

**1億4,500万円**

## 活動報告

令和4年8月の大雨によって被災した現地を9月2日(金)に町議会議員が視察し、町担当者から説明を受け、被害状況や今後の方向性について確認しました。議員からは一刻も早い復旧はもとより、近隣地域への安全などを求める意見が出ました。



## 条例など

- 中泊町議会議員及び中泊町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について  
公職選挙法の一部改正に伴い、条文の整備をするもの
- 中泊町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について  
育児・介護休暇法の一部改正に伴い、条文の整備をするもの
- 中泊町特定公共賃貸住宅条例の一部改正について  
特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律施行規則の一部改正に伴い、条文を整備するもの

## その他の案件

- 令和3年度中泊町財政健全化判断比率の報告について  
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により報告するもの
- 令和3年度中泊町公営企業会計に係る資金不足比率の報告について  
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により報告するもの
- 令和3年度中泊町教育委員会事務の管理・執行状況の点検及び評価報告書について  
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規程により提出するもの
- 負担付きの寄附の受け入れについて（2議案）  
負担付きの寄附の申し出があったため、受け入れることについて議会の議決を求めるもの

## 傍聴席は、あなたの席です!!

令和4年第4回中泊町議会定例会は11月下旬から12月上旬です。会議は原則、公開されており、どなたでも傍聴ができますので、皆さんの傍聴をお待ちしております。令和4年第3回定例会の傍聴は18名でした。

※耳が不自由な方にはイヤホンをお貸しします。遠慮なくお申し出ください。

※議場は車椅子での入場ができます。専用の傍聴スペースがあります。

### ～新型コロナウイルス感染症まん延防止にご協力ください～

- ・発熱があるなどの体調不良の方、マスク着用のない方の入場はお断りします。
- ・入場時には検温、手指消毒などにご協力ください。



**成田 直人 議員**

## コロナ禍と世界情勢の混乱 先行きが不透明な情勢による 物価高への見解は

### 議員

コロナ禍や世界情勢の混乱、などによる物価高騰は町民の暮らしに大きく影響があり、一人ひとりの節約や取り組みには限度があると思うが、町長の基本的な対策を伺う。

### 町長

現在我が国は、長期化し先が見えない新型コロナウイルス感染症拡大によるサプライチェーンの混乱や、世界各地で発生している干ばつなどの気象変動による農作物価格の不安定化に加えて、ロシアによるウクライナ侵攻による物流やエネルギー確保の不安など、その他にも、中国と台湾を巡る地政学的問題が山積する状況であると認識している。

そうした状況に起因し、原油や穀物価格の高騰による生産コスト増高、さらには日米の経済・金融政策の相違から24年<sup>\*</sup>の円安水準となり、結果として、ご指摘の物価高騰という困難な状況となっているのではないかと、素人ながら分析している。このことで、日本中で暮らす多く

の人々が消費生活における困難に直面し、明日の生活に不安を抱いているものと承知している。政府には、こうした国民生活の課題をお察しいただき、一刻も早く、町民、国民が安心して暮らせる状態に戻していただきたいと要望する。

こうした物価高に対する対策について、先程お答えしたような認識のもと、国、県の動向を注視しながら、町民生活を支援できる対策が取れないか検討し、時期を失することなく対応したいと考えている。

現在は、先月、我が町を襲った大雨災害で被災した方々への支援策や道路や河川、農地など町全体で受けた被害からの復旧・復興対策を短期、中期、長期と区分しながら取り組むことが急務であり、これまでコロナ禍による影響に対する対策として取り組んできた経済対策と併行させながら取り組む。

岸田総理は、物価高への対応を検討する「物価・賃金・生活総合対策本部」を開催し、10月以降の配合飼料価格の据え置きや、ガソリン、電

気、ガスの価格安定などの追加策をまとめることを表明した。さらには、「1兆円を確保している地方創生臨時交付金を増額する方針を示した」との報道もありますので、それらの内容を注視しながら、できる限りの対策を検討していく。

※9月6日現在



町では、一人暮らしの大学生等への支援品等を送付。ほかに、大学生等一人につき5万円の生活支援給付金も実施。



## こども園こどまりの 存続への意向と 支援策などはあるか



塚本 悦子 議員

**議員** こども園こどまりは存続の危機に立たされているが、子供たちの最善の利益のため、園の存続について町の考え方を伺う。

**町長** 人口減少及び少子高齢化が進む町において、出生数の減少が顕著となっている。このうち小泊地域は、令和元年度が9人、令和2年度及び令和3年度は2人と著しく減少してきたことが、地域の保育を取り巻く環境にも影響を与えている。

平成27年度の町立保育所の民営化後、小泊地域で社会福祉法人清隆厚生会が「こども園こどまり」を運営してきたが、今年8月に子どもの急激な減少及び保育士の確保が困難であること等を理由に、本年度末で事業撤退を検討している旨の申し出があったところである。

「こども園こどまり」は、平成27年4月には56人が利用していたが、本年度8月末時点では30人となり、令和6年度には20人を下回り、その



こども園こどまり

後も利用者の減少は続くものと推測されている。

保育士の確保について、現在の法人が運営する鶴田町、東通村のこども園とは距離的に離れているため、保育士の応援体制の確立が困難になっている。また、こども園こどまりを就労先とする求人も行っているが、保育士の確保には至っていない。

現法人の撤退により小泊地域の保

育環境がなくなるのではないかと不安になっている方がいらっしゃると思うが、子どもの社会性や思いやりの心などを育むとともに、保護者が安心して働き、小泊地域で生活していくために不可欠な場所であり、町は今後も保育環境をしっかりと守っていかねばならないと考えている。

このことから、令和4年度内に新たな運営法人を募集する予定としている。町の支援及び協力の方向性は、新法人へ引継ぎの際、保護者からの意見や要望を的確に伝え、新法人との調整を円滑に行うことで、子どもと保護者が負担なく施設を利用できるように、環境を整えていく。また、国や県の動向を注視し、新たな補助金及び交付金制度を積極的に活用するとともに、運営法人の負担軽減を図りたいと考えている。

以上の取組みによって小泊地域の保育の環境を維持し、子育て世代が安心して働き、子どもを産み育てられる町づくりに努めていく。



**荒関 富雄 議員**

## 未曾有の大雨災害 被災者への支援と 復旧への道のりは！

### 議員

**8月の大雨被害に対する今後の施策、そして被災者への支援策はどのようになっていくのか。**

### 町長

今回の大雨被害を受けられ、た町民の皆様には、心からお見舞い申し上げます。今回、人的被害の報告がなかったのはとても救いであつたと安心しているのが正直なところである。復旧、復興にあたっては、議員各位とともに連携して、この難局に立ち向かっていきたいと考えているため、一層のご支援、ご協力をお願いする。

河川災害や道路の崩壊など町管理部分だけで実に16件、概算で3億7600万円の被害となった。これらについては先日、国土交通省の緊急災害対策派遣隊通称「ECHECORN」から報告を受け、対応策の選択肢をお示しいただいた。復旧に当たってはどの方法がよいのかを詳細に検討し、工法を決定したい。国道、県道などの被害箇所についても、強力に働きかけを行い、早期の復旧を目指す。

また、農地の浸水、冠水、土砂の流入などによる被害も深刻であつた。現段階では水稲が約320ha、大豆で約447ha、野菜約6.4ha、花き約1.4haが被害を受け、町内の農地の約3分の1に被害が及んだ。

町独自の支援を実施するとともに、県等の管理施設における土砂、流木流入については処分を強く要望し、復旧についても関係機関と連携を取りながら進めていく。

商工業者への対策は、店舗機能回復に要した経費や商品補填などの費用に対するの支援金交付や、町商工会による支援体制の充実、泉融資制度との連携による保証料の全額補助を実施したいと考えている。

そして、青森県が行う「被災者生活再建支援制度」による支援とは別に、町独自に支援策を講じたいと思つている。そのほか、住居を失い、身を寄せる場所がない方には、公募予定の町営住宅の目的外使用を許可して当面の住居を提供したほか、教材が浸水してしまった家庭には学用品費の支給を実施し、個別の家庭の

事情に配慮した対策も行っている。

さらには、税・料などの減免・徴収猶予制度も用意している。また、被災した家屋の清掃等に要した水道料の一部減額も実施することとしている。

以上、現時点で実施している対策及び前向きに検討している対策を申し上げたが、これらの対策を機動的かつ適切に行い、復興に向けて最大限努力して参る。

### 議員

**大雨被害に加え、農業資材、肥料価格高騰により農業資材に支障があるが、支援策はあるのか。**

### 課長

農業肥料をはじめとする飼料や資材、燃油の価格が高騰し続けている。国の対策としては、「肥料価格高騰対策事業」、788億円の支援策が公表された。詳細は今後国から示されるが、町の対応としては県の対策を踏まえながら、できる限りの支援を考えていく。

8,386万8,966円

決算特別委

財政健全化判断比率

健全化判断比率	令和3年度	令和2年度	早期健全化基準
実質赤字比率 <sup>※1</sup>	—	—	15%
連結実質赤字比率 <sup>※2</sup>	—	—	20%
実質公債費比率 <sup>※3</sup>	11.3%	11.1%	25%
将来負担比率 <sup>※4</sup>	62.2%	84.1%	350%



▶実質赤字比率とは—

広い目的に使われる「一般会計」の赤字額が、地方税や地方交付税等の財源規模(財政標準規模)と比べてどのくらいあるか指標化したもの

▶連結実質赤字比率とは—

「一般会計」だけではなく、特別会計も含めた全会計を合算し町全体としての赤字額を指標化したもの。一般の会社で行われている「連結決算」と同じ意味合いを持つ。

▶実質公債費比率とは—

借入金の返済やこれに準ずるものが、標準財政規模に対してどのくらいあるか指標化したもの。この数字が大きいほど借入金返済に追われ、資金繰りが苦しい。

▶将来負担比率とは—

借入金の返済や将来負担になることになるものの残高を、標準財政規模に対してどのくらいあるか指標化したもの。この数字が大きいと、現在の負担はそれほどでなくても、将来必要になる負担が大きい。

令和4年9月7日から8日までの2日間、全議員で構成する決算特別委員会が設置され、令和3年度の各会計の審議が行われました。委員長には野上憲幸委員が、副委員長には田中洋委員が就任しました。7日は各特別会計が、8日には一般会計が審議され、全会一致で採択すべきものとして決定されました。



# 一般会計歳出決算額114億

## 各会計決算額

会計の別		歳入	歳出
一般会計		11,733,781,274円	11,483,868,966円
国民健康保険特別会計 (事業勘定)		1,632,551,956円	1,559,943,505円
国民健康保険特別会計 (施設勘定)		138,446,214円	138,444,415円
介護保険事業特別会計		1,871,576,352円	1,833,938,282円
農業集落排水事業特別会計		41,917,551円	41,183,666円
漁業集落排水事業特別会計		23,308,571円	23,161,260円
後期高齢者医療特別会計		293,080,460円	289,150,177円
水道事業 特別会計	収益的収入	329,336,962円	
	収益的支出		266,609,034円
	資本的支出		224,154,688円

### 外崎代表 監査委員 審査意見

職員一人ひとりが町の財政状況を念頭に置き、国や県等の補助制度等を十分に活用した歳入の確保と、強いコスト意識と創意工夫による事務事業の見直し、そしてデジタル化推進による人件費の削減と行政サービスの向上を目指し、さらなる財政健全化に取り組んでいただきたい。

## 議会運営委員会 (委員長 秋元 隆)

### ○令和4年8月4日(木) 第5回議会運営委員会

〈案 件〉

- (1) 令和4年第3回中泊町議会定例会会期日程及び議会運営に関する事項について
- (2) その他

### ○令和4年8月29日(月) 第6回議会運営委員会

〈案 件〉

- (1) 一般質問について
- (2) 提出議案について
- (3) その他



議会運営委員会の様子

## 総務文教常任委員会 (委員長 長利 司)



総務文教常任委員会の様子

### ○令和4年8月4日(木) 第1回総務文教常任委員会

〈案 件〉

- (1) 陳情第4号「国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情」について  
審査結果…不採択するべきと決定
- (2) その他

## 広報委員会 (委員長 成田 直人)

### ○令和4年7月21日(木) 第3回広報委員会

〈案 件〉

- (1) 議会ガイド第69号(案)について
- (2) その他



広報委員会の様子



## 知事講演 攻めの農林水産業を学ぶ

7月22日(金)に板柳町多目的ホール「あぶる」で青森県知事講演会が開催されました。この講演会は、西北津軽郡町議会議長会が主催し、中泊町を含む5町議会議員や担当職員などを対象に行われました。講演では知事が「攻めの農林水産業について」と題し、県内各地の取り組みはもちろん、西北津軽郡での取り組みも取り上げられました。



## 社会の荒波に負けるな！ 令和4年度成人式



20歳の節目を迎えた成人を祝う令和4年度中泊町成人式が8月15日(月)に総合文化センター「パルナス」で行われ、対象の106人のうち56人が出席しました。

長引くコロナ禍、そして大きな爪痕を残した8月の大雨後を受けて川山議長は「おめでとうございます。これからの社会を築いていく皆さんの力を、どんな形でも結構ですので、郷土のためにお貸しください」と祝辞を述べました。

## まだまだ現役！ 元気な長寿者たちを祝う

9月15日(木)に総合文化センター「パルナス」で中泊町敬老会が開催されました。

今年も88歳長寿者、ダイヤモンド婚、金婚を迎えられた数多くの方々に表彰状が贈られました。議会を代表して荒関副議長は「ご長寿おめでとうございます。これまでのご功労に感謝を示すとともに、いつまでも健やかに、末永くお過ごしください」とあいさつしました。



7月

- 6日 中泊トマト冷やしつけ麺 完成発表会
- 13日 県下町村議会議員研修会
- 14日 中泊町献血推進協議会
- 中泊町健康づくり推進協議会
- 20日 中泊町青少年問題協議会
- 21日 中泊町議会広報委員会
- 22日 青森県知事講演会

8月

- 4日 中泊町議会議会運営委員会
- 中泊町議会議会総務文教常任委員会
- 15日 令和4年度中泊町成人式
- 16日 五所川原地区消防事務組合議会
- 23日 中泊町民生委員推せん会
- 29日 中泊町議会議会運営委員会
- 30日 西北五広域福祉事務組合議会

9月

- 2日 第3回中泊町議会定例会(開会)
- 令和4年8月大雨被災現地議員視察
- 6日 第3回中泊町議会定例会(一般質問)
- 中泊町議会議会運営委員臨時会
- 7日 決算特別委員会(特別会計)
- 8日 決算特別委員会(一般会計)
- 9日 第3回中泊町議会定例会(閉会)
- 15日 中泊町敬老会

広報委員会 (委員長 成田 直人)

令和2年6月から組織された中泊町議会広報委員会では、読みやすい議会広報紙づくりに取り組んできました。

これまで部分的に進めてきた紙面の刷新が今号で全て完了し、新たな議会ガイドに生まれ変わりました。

今後も引き続き、より多くの方が手に取り、読んで貰える広報紙づくりに努めて参ります。



編集後記

▼8月の中泊町。突然、百年に一度”とも言われる未曾有の集中豪雨が地域を襲う。大規模自然災害が発生し、道路等の冠水をはじめ土砂崩れによるインフラ損壊や住宅浸水と被災農家の経済的損失は甚だしい。

▼しかし、係る災害でも死傷者ゼロは避難所の迅速な開設や停電中において、避難指示を遵守しつつ、躊躇しない避難が奏功した。また、今後発生が予想される大規模自然災害は決して百年に一度の単位ではなく、明日にでも起こりうる事象として捉え、常時万全な備えを心掛けることが最大の防災・減災だと思う。

▼8月15日は予定通り成人式がパルナスで挙行、成人48名は誇りと決意と緊張の中での出席。『コロナ世代』とも呼ばれ、新型コロナウイルス発生当時は高校三年生であり、重要行事が相次いで中止・延期になるなど影響を諸に受けた世代である。

▼二十歳を迎えて(投稿)には厳しい環境下でさえ、挫けない強い精神力が心根にあり、その表れとして多くの成人が「感謝」の言葉を寄せ、とても印象的であった。

〈委員長・成田直人〉